

グループホーム こもれび

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。		ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		ほぼ全ての家族と 家族の3分の2くらいと 家族の3分の1くらいと ほとんどできていない

グループホーム こもれび

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が 職員の3分の2くらいが 職員の3分の1くらいが ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が 家族等の3分の2くらいが 家族等の3分の1くらいが ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム こもれば

作成日 平成24年12月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	48 49	高齢化が進み、ドライブ等が身体的に負担にされる方も多くなっている。	体の負担にならない近場での屋外活動を増やす。なるべく多くの方に、外気に触れる機会を持って頂き、気分転換して頂く。	昨年の課題で、屋外での行事を増やし、一応の目的は達成されたと思われるが、まだ不足している。気候の良い時を選んで、屋外での食事会を増やす。	4ヶ月
2	37	買物等に出られる方も減少し、日常的に自己決定の機会が少ない。	食事もおやつも、基本的には皆様同じものを召し上がって頂いている。自己決定による満足感を、味わって頂く。	食中毒の危険性の少ない時期に、ご自分の食べたい物を選んで頂き出前をとる。時には、行事以外でも、バイキング形式の食事を提供する。週に一度は数種類の中から食べたいおやつや、飲み物を選んで頂く。	2ヶ月
3	40	月に一度の食事作りも参加できない方が増えておられ、食事作りの楽しみを味わえなくなっている。	現在も手作りおやつを勧めてきているが、ご利用者も参加できる、より簡単なおやつ作りで、作る楽しみを感じて頂く。	入浴のない日に、利用者様参加のおやつ作りを取り入れる。	2ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。